

げんきの市場のシンボルマークが出来ました!!



新鋭のジュエリーデザイナーの飯山さんが、げんきの市場のシンボルマークを制作してくださいました。

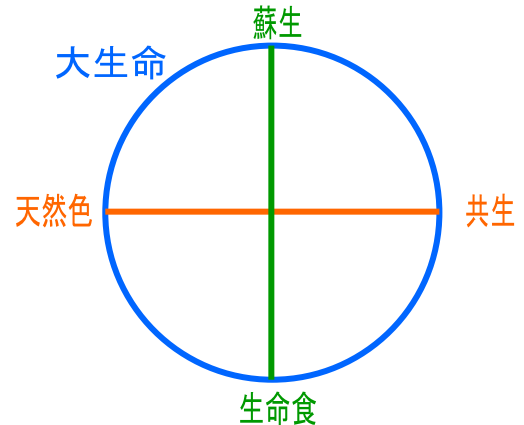
げんきの市場の生産者の七色畑の大地に、しっかりと根をはやし、双葉から3枚目の葉をつけて成長する若い木。このマークには、げんきの市場のすべてが詰まっています。実はこのデザインへの思いは今から20年近く前、私(山下)が産直運動に従事していたころにさかのぼります。

20代のときに産直運動に入り、事務局として働きながら、沢山の生産者や消費者の方に育てていただきました。その中で培ったものを私なりに、当時、グループのマークとして提案したものが、丸の中の十字のマークで、次のような思いが込められていました。

「私たちを表す水平線は天然色から共生へと向かう相を表しています。消費者、生産者、流通、などの共に生きる者たちの天然色の世界が、互いの認識により、喜びに満ちた共生へと向かう道程を表しています。

そして、「私たち」の水平線をつらぬく垂直線は、生命食により蘇生へと向かう相を表しています。水・土・空気・太陽・風などの大自然の生命そのものと、その仕組みにより育まれた「いのち」そのものを頂く事によって、蘇生する「生命」を現しています。私たちの水平線を貫き、「感謝」という本質を得て、体の健康だけでなく、心の蘇生へと進む道なのです。

最後に、これをつつみ込む円は、単純な人間のもつ善悪や、理性や、知識を越え、そして「在る」大いなる世界、自然界、宇宙という姿で認識し得る、「大生命」を表しています」。



飯山さんのお力で、私がずっと思い続けている未来への思いが、げんきの市場のシンボルマークとして、今回、蘇えり生まれることが出来ました。このマークが、げんきの市場を育て、応援しているみなさまから愛されることを心から願います。